



物置からの非常脱出

簡単操作で内から解錠

ガードロック 誤認施錠事故防ぐ

ガードロック(大阪府豊中市、南元治社長、06・6152・1830)は、物置内部からの非常脱出用に、シンプル設計の解錠装置「安心脱出」を開発した。暗闇で光る矢印がついた板状部品を引っ張るといふ感覚的な操作だけで解錠できる装置。物置持ち主以外の、あらかじめ説明書を読んでいない人や、子供、老人が内部に閉じこめられた際にも容易に操作して脱出できる。価格は数量によって異なるが、まとまった数量の場合1個1000円程度になるという。

人がいるのに気づかず施錠するなどのトラブルが少なくない。このため、物置業界では誤認施錠事故を防止するため各社が非常脱出機能を付加し始めている。

しかし、「機構が複雑な装置や視認性が低い装置も多く、事前に説明書を読んでいなければ対応が難しい」(南社長)という。



10月末をめぐりに、物置メーカーや業務用保冷庫業を始める。

装置は錠前本体

と、施錠時にカムが

ひっかかる受け座、

バネの三つで構成。

受け座は板状のスラ

イド式で、蓄光性夜

光塗料で表記された矢印

の方向に引けばカムのひ

っかかりがなくなり、扉

を開放できる。受け座近

くの「非常脱出」の注意書きも蓄光性夜光塗料で、暗闇の中でも視認できるといふ。

バイクや自動車が入る

家庭用大型物置や、商品

保管に使う業務用物置、

保冷庫などでは、内部に

脱出」

計の解錠装置「安心

脱出」